

SSKU

2020 年度

冬号

お元気ですか？

イリアンソスです。



Page2 理事長の散歩道

Page3 特集「2021年わたしの抱負」

Page6 活動報告

Page7 職員リレー「仕事で大切にしていること」



連載

理事長の散歩道

⑳

「新しい年の始まり」

社会福祉法人イリアンソス 理事長 磯部光孝

あけましておめでとうござい
ます。今年もよろしくお願
いします。新しい年が始まり
新型コロナウイルスの感染
が拡大している状況の中
でも、利用者、スタッフも変
わりなく元気に活動を行っ
ています。

わたしも外出を控えてい
るため、なかなかおたよりを
書けず遅くなり申し訳あり
ません。

新型コロナウイルスに立ち向かうには

菅首相は、政策理念として
「自助・共助・公助」を掲げ
ました。きょうされんの専務
理事の藤井克徳氏は、「公助」
とは広辞苑にも載っていない
権力者の造語であるとい
指摘しています。またこの「自
助・共助・公助」は、公的責

任を訴えるわたしたちに対
して障害福祉では数年前か
らよく厚生労働省の担当官
が使うフレーズです。障害の
ある人たちが、家族も含めて
努力して生きてきた姿を無
視し、もうこれ以上は、国は
財政を増やせない。今ある
予算の範囲内で障害福祉を
やってくれと10年前の予
算から数倍増えた予算額を
示しているのです。これは、
もともと低い予算であった
ためであり、命を守るとは予
算の問題ではなく、国として
障害があっても安心して暮
らしができていくかどうか
なのではないでしょうか。
憲法25条で掲げている
「すべての国民は、健康で文
化的な最低限の生活を営む
権利を有する。国は、すべて
の生活部面について、社会福

祉、社会保障を及び公衆衛生
の向上及び増進に努めなけ
ればならない。」が基本であ
り、国の責任を明確にすべし
と訴えています。まさに昨年
からの新型コロナ対策にお
いても、国の責任において国
民一人ひとりの命を守る施
策を言葉だけでなく見せて
いただきたい。

こうした国の姿勢がずつ
と続いているなかでの、昨年
からの新型コロナ感染です。
これは、「東日本大震災」や
「熊本地震」、台風被害など
と同じ災害といつていいと
思います。まさにこうした災
害時に社会の矛盾が露呈し、
一番被害に会うのは、社会的
弱者なのではないでしょ
うか
わたしたちは、障害のある
人たちの暮らしを支えてい

くことを通して、もっともつ
と国の責任を明らかにし、こ
うした災害にも安心できる
社会を実現するために、社会
のあらゆる人たちと連携し
ていくことを強く訴えてい
きます。

ぜひ、きょうされんの国会
請願署名・募金に協力をいた
だき、わたしたちの声を国会
に届けていきたいと思いま
す。(国会請願署名用紙は各
事業所で配布しております
ので、各事業所に問い合わせ
をお願いします)



特集

わたしの抱負 くこんな1年にしたいく

今回の特集は、「2021年わたしの抱負」と題して、通所事業所の皆さんに想いを込めて書(描)いていただきました。笑顔溢れる一年にしていきましょう。今年も一年よろしくお願いします。



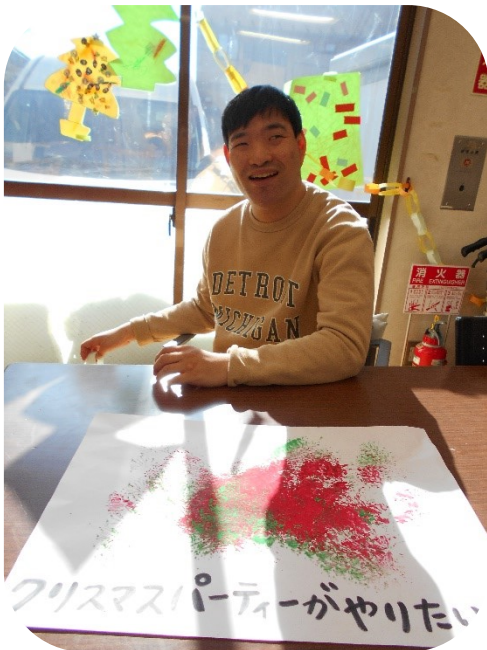
クリスマス会を楽しくしたい！
と書きました。
毎日楽しく過ごしたい！



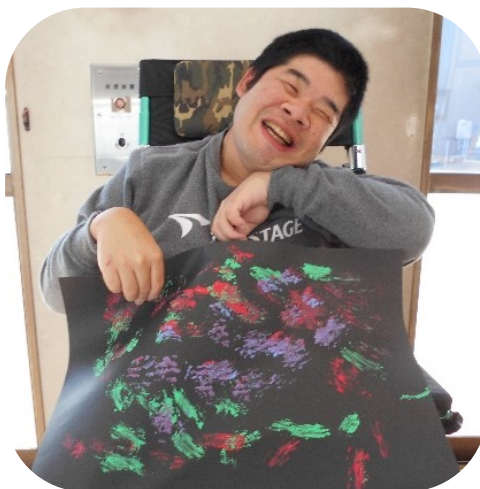
いちにちレクにいきたい！！



絵を描くのが楽しい！！

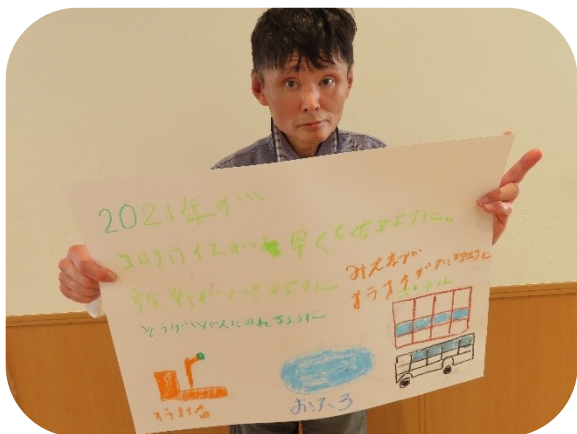


クリスマスパーティーがやりたい！



外に出かけたい！！

なかまの家



今年は、たくさんの願いがあります！！



みんなの笑顔を描きました。今年もみんなと楽しく仲良く過ごしたいです。



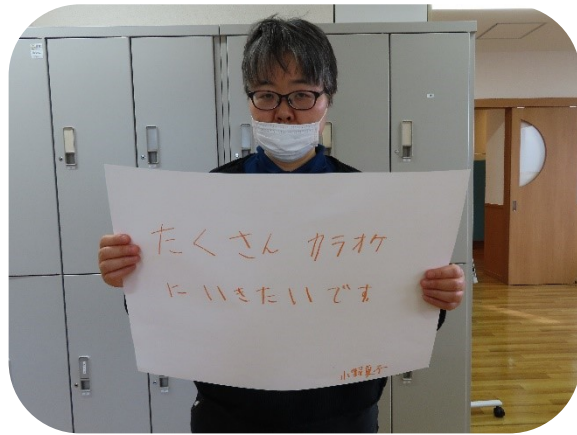
創作の時間が好きです！今年もいっぱい描きたいです！



また一年が過ぎ、2021年！新しい年が始まります。今年、バスに乗って旅行に行きたいです！



今年はたくさん出かけたい！



歌を歌うことが大好きです。去年は、カラオケに一度も行けませんでした。今年、たくさんカラオケに行きたいです。

活動センターかなえ



はじける笑顔



いろいろな私をみて



元気ハツラツ!! 楽しい1年!

のぞみの家



今年もやるぞ!!



楽しく元気に過ごす!



健康第一

新入所・新成人を祝う会

今年度は感染症拡大予防のため、規模を縮小し、10月9日(金)に活動センターかなえで開催しました。法人全体が集まることはできませんでしたが、各事業所の代表者もお祝いに来てくれました。

今年度の主役は3名です。新入所：田中伽奈さん(写真右上)と小園江心桜さん(写真右下)、新成人：坂井貴理子さん(写真左)施設の放送マイクを使用し、張り切って皆さんに自己紹介をしました。昼食は市内のお店で「うなぎ川松」のうなぎ重・「みちわ寿司」の握り寿司・「おまかせ料理 田中」の折詰め弁当

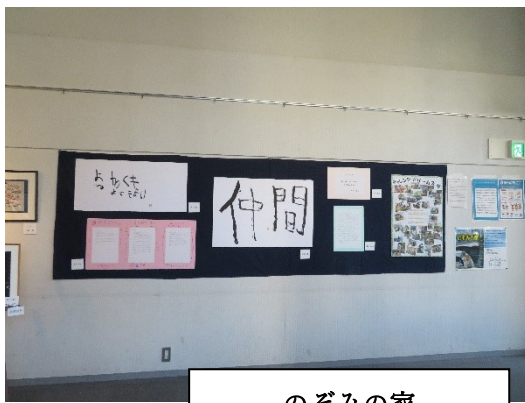


から好きなメニューを選んで食べています。「美味しかった!」とびきりの笑顔です。また、かなえの仲間からお祝いのメッセージ色紙がプレゼントされ、「嬉しい!」ととても喜んでいました。小さいながらもみんなで心のあたたまった会ができたと思います。

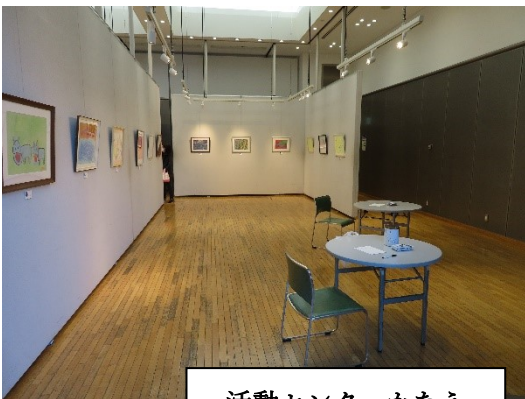


作品展

のぞみの家作品展が12月16日～18日にスペース105にて、活動センターかなえ作品展が12月22日～23日に東久留米市役所市民プラザにて感染症拡大防止をしながら開催しました。この作品展は、日頃の利用者さんの頑張りや作品づくりを楽しんでいる様子を、地域の皆様に知っていただく場です。来場された方の声では、「楽しくて力強い作品」、「笑顔の写真温かな色あいの作品にホッとしたり」「どれも印象が違ってすごいですね」とたくさんさんの温かいお言葉を頂きました。ご来場いただきありがとうございました。



のぞみの家



活動センターかなえ





生活寮 (共同生活援助)

大川奈美(4年目)

自分は、生来ものぐさな性格に加えて、三歩歩くと考えていた事や思っていた事をケロッと忘れてしまうという大変ポンコツな脳みそを持つ人間なので、が、なるだけ勤務時には「笑う事」を大切にしようと思っています。寮は生活と直結している場所なので、利用者の皆さんが「笑える事・笑顔になれる時」が少しでも作れたら、寮で楽しくリラックスして過ごせるのではないかと。「お帰りなさい」から「行ってらっしゃ

い」までの間に、利用者の方々だけでなく、支援に入って下さっているスタッフさん達も、もちろん自分もたくさん笑えたらいいな！と、ものぐさながらも声掛けや支援に笑いを取り込みながら勤務しています。そして、ポンコツ脳から絞り出したネタで、皆さんにたくさん笑ってもらえたら最高の気分なのです。もちろん自己満足ですけれど。ちなみに、私のウチには「泣くひまがあったら笑え。笑うひまがあったら笑わせろ。」という家訓があるのです。本当です。(爆)

職員のひとことリレー

VOL 7



なかまの家 (生活介護)

疋田史江(14年目)

私が一番大切にしていることは「表情」です。コロナ禍でマスクが当たり前前の日常となり、自閉症スペクトラムや聴覚障害の方々には表情から汲み取る情報が分りにくくなり、また一つ社会的障壁が増えてしまったのではないのでしょうか。目は口ほどに物を言うと言いますが、表情は言葉より正直です。怖い顔で見つめられると、緊張や不安を感じますし、笑顔は安心感を与えます。利用者の方が不安そうにしている時や、目があつた時は、出来るだけ安

快感を持つて貰えるように、時にはマスクを一瞬外し(飛沫が飛ばないように…)明るい表情を見せると、何かが通じたかのように、笑顔で返してくれる時があります。苦しい事や辛い事があっても、利用者の方の笑顔を見ると全てを忘れてしまいます。支援してもらっているのは、自分の方だなあとつくづく思います。これからも、利用者の方々とは笑顔のキャッチボールを楽しみながら、笑いジワをどんどん増やしていきたいと思っています。(笑)

前回、職員からのリレーです。「仕事で大切にしていること」今回は、日中通所の場と生活の場の職員です。

ご寄付をいただきました(12月末まで)
法人各施設にご寄付をいただいております。
誠にありがとうございました。
いただいたご寄付は法人各施設の充実や、将来構想の資金として大切に使用させていただきます。
藤田祐子様 崎原照代様 古谷勝子様
ありがとうございます。

車両購入～赤い羽根共同募金～

活動センターかなえでは、赤い羽根共同募金より助成金を賜り、軽自動車の購入をすることができました。朝夕の送迎や物品配達などの活動など幅広く使用しており、利用者スタッフ一同大変喜んでおります。ありがとうございました。



社会福祉法人イリアンソス

●のぞみの家

東久留米市下里2-7-18
042-473-9027
042-473-9036 (F)
nozomi@iriansos.or.jp

●活動センターかなえ

東久留米市南沢2-20-51
042-452-6405
042-452-6415 (F)
kanae@iriansos.or.jp

●なかまの家

東久留米市中央町2-1-47
042-472-7130
042-444-3722 (F)
nakama@iriansos.or.jp

●生活寮「うみ」「そら」

東久留米市下里4-2-7
042-476-3400 (F兼)
sora@iriansos.or.jp

●生活寮「にじ」「かぜ」

東久留米市下里5-10-10
042-420-9943
kaze@iriansos.or.jp

●このみ

東久留米市幸町3-8-23
042-473-9667

～編集委員のつぶやき～

コロナとの戦いの2020年が終わり、寒さもコロナもあと一息と願いつつ、元気な春を迎えましょう。2021年、ちなみに、ふと2021を素数だと思い検索したら・・・違いました。それでは、素数ではない2021年良い年にしましょう。

松森大輔(生活寮そら)

《発行》

特定非営利法人障害者団体定期刊行物協会

〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷3-1-1

ヴェルドゥーラ祖師谷102号室

Tel 03-6277-9611/Fax 03-6277-9555

《企画、編集》

社会福祉法人 イリアンソス

〒203-0043 東京都東久留米市下里2-7-18

Tel 042-473-9027/Fax 042-473-9036

《編集委員》

磯部光孝・多田由美・吉田遊佑・福田恵・中西亮太
花形優・高橋友紀・松森大輔・廣智章・吉坂慧佑

※ホームページからもご覧いただけます。

イリアンソス



定価100円

表紙の写真 「なかまの家」(生活介護)

創作活動の様子です。絵を描いているところと陶芸の活動をしています。

挿絵：くらげ(ペンネーム)